

歯科材料 3 義歯床材料
管理医療機器 歯科用汎用アクリル系レジン 70916010

プロビナイス Mild

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材は、粉と液を筆積法、混和法、シリコーンコア法により重合させて用いる歯科汎用アクリル系レジンである。
歯冠色は、暫間インレー、クラウン、ブリッジ、個歯トレー等の作製や修理に用い、歯肉色及び特殊色は、義歯床の修理等に用いる。

【構成】

本材は、ファストタイプとノーマルタイプの粉 2 種類及び液 1 種類より構成される。

構成	性状	成分
ファストタイプ	粉	メタクリル酸エステル重合体、反応開始材、着色材、その他
ノーマルタイプ		
液	液	メタクリル酸メチル、反応開始材、その他

粉の色調：歯冠色 A1、A2、A3
歯肉色 U3、8S
特殊色 クリア

【原理】

本材は常温重合レジンであり、粉液を混合することにより、重合硬化する。

【使用目的又は効果】

暫間インレー、クラウン、ブリッジ、個歯トレー等の作製、義歯床の修理等に用いる。

【使用方法等】

【本材に使用する機械及び器具】

歯科技工用重合装置

水温を50℃以上に加温及び保温することが可能であり、且つ0.2～0.4MPaの加圧が可能な歯科技工用重合装置

【使用方法】

1) 筆積法

- ①ディッシュ等に粉と液をそれぞれ少量取り分けます。
- ②小筆の筆先に少量の液をつけ適用部位に塗布します。
- ③再び筆先に液をつけ、その筆先を粉につけて、筆先に球状の混合物を作ります。
- ④筆先の混合物を適用部位に置き、形を整えます。
- ⑤③と④の操作を繰り返し、目的の形状に整えます。
- ⑥レジンの硬化後、通法に従い形態修正・仕上げ研磨を行います。

2) 混和法

- ①粉 2.0g に対して液 1.0mL の割合で、混和器に液を入れ、次いで粉を加えた後、スパチュラ等で素早く 10～15 秒間混和します。
- ②混和終了から、ファストタイプは 30～40 秒で、ノーマルタイプは 50～60 秒で軟かい餅状物になります。その後、適度な状態になったところでレジンを用いる部位に圧接します。
- ③混和終了後、硬化が始まるまでに（ファストタイプ：約 1 分 30 秒、ノーマルタイプ：約 3 分）すべての操作が終わるようにします。
- ④レジンの硬化後、通法に従い形態修正・仕上げ研磨を行います。

3) シリコーンコア法

- ①粉 1.5g に対して液 1.0mL の割合で、混和器に液を入れ、次いで粉を加えた後、スパチュラ等で素早く 10～15 秒間混和します。
- ②混和終了後、予め印象採得したシリコーンコアにスパチュラ等を用いて素早くレジン注入します。
- ③レジンが硬化する前に、圧接・保持します。
- ④レジンの硬化後、通法に従い研削・仕上げ研磨を行います。

4) 保存

混和終了からファストタイプは約 3 分で、ノーマルタイプは約 5 分で（常温）重合が終了します。重合したレジンが口腔内に装着するまでは水中に保存し、残留モノマーを溶出させます。

硬化時間（23℃）の目安は、以下のとおり。

（社内試験法）

ファストタイプ

項目	特性値
標準粉液比 ()内は調整可能範囲	2.0 g / 1.0 mL (2.0 g / 1.0 mL～1.5 g / 1.0 mL)
硬化時間	2.0 g / 1.0 mL：約 3 分 20 秒±30 秒 1.5 g / 1.0 mL：約 3 分 45 秒±30 秒

ノーマルタイプ

項目	特性値
標準粉液比 ()内は調整可能範囲	2.0 g / 1.0 mL (2.0 g / 1.0 mL～1.5 g / 1.0 mL)
硬化時間	2.0 g / 1.0 mL：約 4 分 30 秒±60 秒 1.5 g / 1.0 mL：約 5 分 30 秒±60 秒

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 液は揮発性であるため、使用後、速やかに蓋を閉めること。
- 2) 本材の粉と液は必要量だけを取り出して使用すること。なお、余剰分は元の容器に戻さないこと。
- 3) 取り出した粉と液は、速やかに使用し、長時間放置しないこと。
- 4) 口腔内で用いる場合は、本材の混和物は、重合する過程で発熱を伴うことから、温度上昇を感じた場合は速やかに口腔外に取り出し、火傷や歯髄壊死等を起こさないよう注意すること。
- 5) 義歯床用熱可塑性レジンで製作した義歯を補修する場合、液材との接触によりマイクロクラックが入る場合があるので注意すること。
- 6) 筆積法等で口腔内で直接使用する場合は、感染防止のためディスポーザブルタイプの筆等を用いること。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材の液には揮発性のメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。

- 5) 本材の液は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 6) 本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- 7) 本材を用いた硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
- 8) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。
- 9) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。


【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温（1～30℃）、暗所で保管すること。
- ・本材は同一保管庫に大量に保管しないこと。
- ・本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

- ・本材の使用期限は包装に記載のとおり。
[当社データによる]

※(例)  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号 (お客様サポート窓口) 075-778-5482